

番号	72	災害復旧記念碑		
所在地		伊万里市南波多町古里 3 4 9 5		
災害別		昭和 4 2 年（ 1 9 6 7 ） 水害		
目的別		記念碑	建立年	昭和 4 4 年 8 月
特記事項				



伊万里市南波多町古里地区の徳須恵川に架かる古里橋近くに建つ災害復旧記念碑。徳須恵川はこの付近から水溜^{つつみ}にかけて大きく蛇行し、中の瀬と呼ばれる川幅の狭い溪谷地帯を抜けて唐津市北波多へと流れている。そのためこの付近は非常に水害の起きやすい場所でも



もある。この碑に記されている昭和42年の水害は、「佐賀県災異誌」によれば、昭和42年7月8日～9日にかけて、県西部の有田、伊万里地方及び天山山系を中心に、ところによっては1時間に125ミリの達する集中豪雨となり、伊万里市街地を含め県西部を中心に大きな被害をもたらした。気象庁では、この豪雨を昭和42年7月豪雨と呼称している。

「昭和四十二年七月九日大洪水のため災害激基地に指定され左の復旧工事を施行す
向原橋一八七万円 山の後頭首工三九一万円 向原頭首工二三一万円 高尾橋一八八万円

着工 昭和四十三年九月 完工 昭和四十四年八月」 請負者、区長等氏名（略）



国土地理院電子国土 Web